

第一議案

平成 16 年度事業経過報告

(概況)

2001年10月にスタートして、4年目を迎えた KIFA・亀山国際交流の会は、世界の料理講習会開催など新規事業への取り組みが行われた一方、外国人による日本語弁論大会と KIFAMIGO 交流会の融合や交流会での「困りごと相談会」の実施など新しい試みが行われました。また語学講座や日本語サポータ養成講座などの継続してきた事業では市民への定着が見られた反面、素晴らしい実績を残してきた KIFA NEWS の休刊は誠に残念な事となりました。

毎年開かれる「学校へ行こう」進学ガイダンス(教育委員会)の共催にあわせ、9月に発生した紀伊半島沖連続地震後の外国人への防災説明会、翌年3月に行われた地震車による体験学習会(総務課)共催は行政との協働事業として評価すべきことであったと思います。

市町村合併や大手企業の進出など環境の変化に対応して今後への活動を考える課題を顕在化した年になりましたが、将来への活動を根付かせる重要な一年であったと思います。

(事業計画)実績

* H16年5月9日

IATSS フォーラム研修生との交流会開催

東南アジアから集まった IATSS フォーラム研修生 16 名と KIFA メンバーとの交流会を実施。坂本棚田保存会星合会長の協力を得て紙漉き、棚田での田植え体験や海苔巻作りを通して東南アジアの青年たちと交流、その後関宿で古い町並みを見学し大変有意義な一日となりました。

* H16年7月11日・18日・24日

日本語サポータ養成講座開講<初めての人のための「日本語教え方」講座>

亀山青少年研修センター研修室を会場に、市内在住・在勤者20名の参加で開講。講師にLEC東京リーガルマインド日本語教室養成講座専任講師の船見 和秀さんを招き、初心者への教える時の心構えから高度なテクニックまで多彩な講座となった。今回も受講者の中から日本語教室への指導者が生まれ、ボランティア拡大につながりました。

* H16年7月25日

ブラジル料理講習会開催

異文化を知るきっかけにと、食文化から世界の一端を知ろうと KIFA が初めて料理の講習会を開きました。今回は市内在住の日系ブラジル人のナカシマ ヘジーナさんとルシアナさんに先生役をお願いして、亀山市総合福祉センター「あいあい」の調理室で市内の主婦を中心に30名の参加を得て開催されました。参加者には大変好評でした。

* H16年9月12日

外国人防災説明会共催

9月5日の紀伊半島沖連続地震で外国人たちが避難場所を求めてパニック状態になったことで、一つの課題が顕在化しました。これに対してKIFA・亀山国際交流会、U・B・J(絆・ブラジル・日本)と市役所総務課防災対策室の三者主催で地震防災の説明会が亀山市役所内で開かれました。当日は亀山市・鈴鹿市・四日市市等からブラジル・ペルー・ボリビア・中国など約120名ほどの外国人が参加。三重県防災危機管理局地震対策室の協力で地震発生のメカニズムや発生後の対応、被害状況、あるいは事前の準備などをプロジェクターで説明を受けました。

* H16年9月17日～12月3日(全12回)

ポルトガル語講座開講

今年も宜保 マウロさん(三寺町在住)を講師に迎えて、亀山市総合福祉センター「あいあい」で講座が開かれてました。20名の参加者は子連れの若いご夫婦や学生さん、若いOL/OGとか年配のチャレンジャーなど多士済済でポルトガル語への関心の高さと講座の定着を感じました。

* H16年9月30日～12月16日(全12回)

日常英会話講座開講

亀山福祉センター「あいあい」研修室で毎週木曜日午前中、20名の参加者で日常の挨拶や生活する上で最低必要な会話ができるようにと初級会話講座が開催されました。講師は岡田 アンボンさん(関町在住;ラオス出身)。ウィークデーの昼間ということもあり、中高年を主体とした講座となりました。

* H16年10月30日

中国家庭料理講習会開催

一緒に作ろう!外国の家庭料理と題して、中国料理に取り組みました。亀山市総合福祉センター「あいあい」調理室で、陳 芳芳さん(和田町在住)に指導していただき講習会が開かれました。男子3名、外国人3名を含めて総勢32名の参加を得て賑やかで笑い一杯の料理教室となりました。食を通じて少しでも異文化を覗ききっかけになればとの企画でしたが、講座終了後のアンケートには料理講習とあわせてその国の言葉や文化紹介もとのご意見が多数あり、今後の企画の参考になりました。

* H16年11月21日

「学校へ行こう」進学ガイダンス(亀山市教育委員会主催)の共催

亀山福祉センター「あいあい」で開かれた外国人のための進学ガイダンスを後援。外国人児童生徒の進学・就学の説明会実施に協力しました。

* H17年2月13日

KIFAMIGO2005 ふれあいひろば交流会開催

亀山市青少年研修センターで開かれました。今年は、昨年まで開かれていた「外国

人による日本語弁論大会」に変わり『にほんごおはなし会～みんなで聴こう ともだちの声』と題して外国人による日本語でのスピーチを聞き、会場とのやり取りで交流をするふれあいを主体とした和やかな会となりました。スピーチにはブラジル、ポリヴィア、中国、ネパール等 15 名の外国人が参加され、私たちにとって「違い」を知るよい機会になりました。参加者それぞれが持ち寄った料理を楽しみながら交流を深め、その後参加者全員でゲームやビンゴを楽しみました。

* H17年 2月 24日

「多文化共生講演会」(亀山市教育委員会主催)の後援

亀山総合福祉センター「あいあい」で開催された、学校教育課生徒指導サポート室主催の講演会『人権と多文化共生～共に生きるということは～』を後援。講師は多文化共生センター理事、IIHOE 研究主幹の田村太郎さん。阪神大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する経験やその後の活動をベースに多文化共生とは？共に生きるということは？など有意義な話が聞けました。外国人の居住比率の高い亀山市として多文化共生社会へ向けての活動の必要性を改めて再認識しました。

* H17年 2月 27日

きらめき亀山21市民交流会ブース出展

神辺小学校で開催された第五回市民交流会「きらめき亀山21」の展示ブースに一年間の活動状況を展示、活動報告を行い KIFA・亀山国際交流の会の紹介が出来ました。

* H17年 3月 13日

地震防災・消防体験学習会共催

亀山消防署にてKIFA・UBJ・亀山市役所防災対策室共催で開かれ、約 50 名の外国人が参加されました。地震車による震度再現、煙トンネルによる火災発生時の煙体験、また消火器の使い方の訓練をしました。署員に消防署内の仕事の説明を受けました。日頃出向かない消防署で学習会が開かれ大変有意義でした。外国人を含めた防災ネットワークの設立に向け一歩前進できたのではないかと思います。

* H16年4月～H17年1月

KIFA NEWSの発行

昨年に続いて毎月一回、英語とポルトガル語による KIFA NEWS を発行。各学校・幼稚園、保育所、市内の企業、ブラジルレストランを通じて配布しました。亀山市広報生活関連ニュース、社会保険解説等を掲載してきましたが翻訳業務の負荷増大など継続が困難となり、満 3 年間続けてきましたが残念ながら平成 17 年 1 月をもって休刊となりました。

平成 16 年度収支決算報告

【収入の部】

単位：円

大項目	内 訳	予 算 額	収入済額	差引増減
前年度繰越金	前年度繰越金	78,033	78,033	0
会費		92,000	72,000	20,000
	個人会費		68,000	
	賛助会費		4,000	
雑収入	寄付金、預金利子	0	3,007	3,007
事業収入		0	312,400	312,400
	日本語教え方講座参加費		48,000	
	ポルトガル語講座参加費		60,000	
	英会話講座参加費		72,000	
	ブラジル料理講習会参加費		54,000	
	中国料理講習会参加費		64,000	
	KIFAMIGO 交流会参加費		14,400	
合 計		170,033	465,440	295,407

【支出の部】

大項目	内 訳	予 算 額	支出済額	差引増減
諸会費		12,000	12,000	0
事務用品費		20,000	8,551	11,449
通信費		10,000	1,040	8,960
事業費		100,000	321,353	221,353
	日本語教え方講座		54,365	
	ポルトガル語講座		33,380	
	英会話講座		31,630	
	ブラジル料理講習会		45,930	
	中国料理講習会		33,858	
	KIFAMIGO 交流会		112,627	
	IATSS交流会		5,195	
	きらめき亀山交流会		4,368	

予備費		28,033	0	28,033
合 計		170,033	342,944	172,911

収入支出差引額 122,496円(465,440円 - 342,944円 = 122,496円)
を次年度繰越とします。

平成17年3月31日

会長 古市 修

上記の決算について監査の結果正確であることを認めます。

平成17年4月2日

監事 櫻井 好基 印